

## 七大学若手会第7回講演会が東京で開催されました

2017年3月4日(土)、七大学若手会(2014年設立、会長 許志国(京都大学修士、以下 Jico 会長))第7回講演会(講師:三菱UFJ証券(株)元取締役社長)が、東急キャピトルタワーにて開催されました。本講演会は一般社団法人学士会との共催で、京都大学・大阪大学の後援、青島ビール社からの協賛を得ており、総勢41名(男性27名、女性14名)が参加しました。Jico会長以外、役員の酒井裕人氏、吉野雅彦氏も出席されました。

学士会からは村松課長、池田課長補佐にお越し頂きました。今回は新規学士会入会者に対して、七大学若手会によるキャッシュバックキャンペーン(2,000円/人)が行われ、2名が入会しました。

「豊かさを考える」と題した講演では、秋草氏から以下のメッセージを頂きました。

- ・落ち着いた生活ができることで、人生は豊かになる。
- ・欧州圏の国々では似た文化と習慣を持ち、小さくてまとまりやすいエリア内に集中しているので、先進国として発展でき、豊かな暮らしを実現した。
- ・ドイツ文化の中には、自然と共存するように自然を管理する考え方がある。
- ・日独では生産性に格差がある。根底的にはドイツでは相手の権利を尊重し相手の行動に文句を言わない慣習があることが原因。
- ・ダイバーシティ(多様性、広がり)の重要性。皆同じ職種で同じ労働をするよりは、それぞれの得意分野で活躍。家事・育児も労働であり男女共に稼いでいると考えるべき。
- ・海外経験をした事で周りには漠然とした思い込みを持つ人が多いと気づき、それは危険であると思った。
- ・本当の豊かさは、学びを通じて得られる心と教養の豊かさ。

講演会に続くグループワークでは、各テーブルで講演に関する意見交換が熱心に行われました。その後のQ&A、懇親会に移っても秋草先生に熱心に質問する参加者の姿がありました。懇親会の余興では、何と現在流行りのロボットやAIに関するクイズ大会が行われ、参加者が6つのチームに分かれて、チーム対抗戦を行いました。対抗戦の結果は想像を超え、優秀したDチームは9問中8問正解という優位な成績を収め、ロボットやAIに対する関心の高さに脱帽しました。優秀したチームには山梨から買ってきたほうとうセットが贈られました。オリンピック年によせて、受賞者には表彰状以外にもJico会長から金メダルが合わせて授与されました。懇親会の最後に、毎年恒例の七大学花見大会(4月1日に東京にて開催予定)の案内がありました。

今回の講演会では新役員の任命があり、今回の幹事団リーダーを務めた李維佳氏がJico会長より役員に任命されました。これで、七大学若手会の役員は8名に増えました。閉会後は近くの中華料理店での二次会に移行しました。二次会には飛び込み参加者が複数おり、その後は有志で三次会へと流れていき、何と三次会でも十数名が参加し、盛会のうち閉幕されました。

七大学若手会ホームページ：<http://wakatekai.jp/>

七大学若手会経営陣一覧：<http://wakatekai.jp/7UYMS.pdf>

七大学若手会設立趣旨：<http://wakatekai.jp/7Usyushi.pdf>



講演中の秋草氏



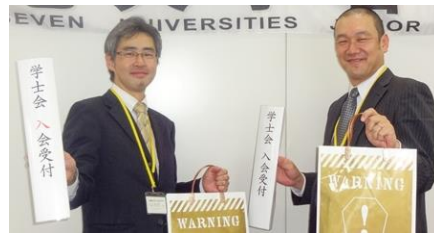
新役員任命式中の Jico 会長



新役員李氏の任命式



若手会役員吉野氏



学士会の村松課長と池田課長補佐



講演会の風景



若手会役員酒井氏



賛助会員杜様



京大若手会賛助会員  
桑原様



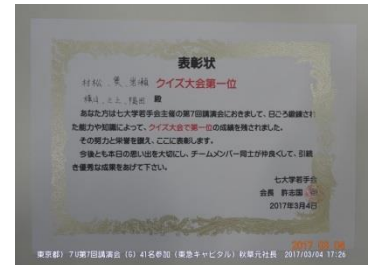
ご来賓の隅田様



協賛の青島ビールで乾杯



会の開催に尽力した幹事団の集合写真



クイズ大会の表彰状



全体集合写真